（様式２）

平成２５年度　流域管理の取組結果表

No.　５５（当初計画：No.　５６）　　　　　　　　　　東北森林管理局

取　組　名	治山事業の理解と啓発(継続)
流　域　名	宮城北部流域
分 類 番 号	カー２７
実施箇所及び実施日	深山岳国有林　　平成２５年　９月１９日 新堀向国有林　　平成２５年１１月１３日
取組の背景及び必要性	平成２０年に発生した岩手・宮城内陸地震、平成２３年に発生した東日本大震災の被害箇所復旧の様子を一般市民に見てもらい、国有林が地域住民の安全安心な生活の確保に取り組でいることなどをPRする。
取 組 の 内 容	当署で開催している森林ふれあい教室の中で、甚大な被害を受けた栗原市耕英地区、東松島市大曲地区の災害箇所で復旧状況の説明をしました。 東松島市大曲地区では、被災前後の状況や復旧工事の進め方等を、パネルを使い説明し、現在行われている工事は、緑を取り戻すための第一歩であること、被災前の林を取り戻すためには数十年がかかること等を説明しました。説明を受けた参加者からは、「これからの道のりの果てしなさに胸を打たれた」若い職員さんの「今できることをコツコツやっていくだけです」との言葉に頼もしさを覚えたとの感想が出され、治山事業の重要性及び国有林野事業の取組を広くアピールしました。
国有林担当部局・役割	宮城北部森林管理署
連携協働相手先・役割	栗原市、東松島市
取組の結果、反響、今後の課題等	地域住民に治山事業の重要性及び国有林野事業の使命をアピールし、参加者からの感想も良好だった。 今後も継続してＰＲしていくため、イベントへの参加、他の公共施設等への展示を検討し現地見学会等を開催する。
ＰＲの実施状況及びその期待する効果	岩手・宮城内陸地震の震災からの復興を市内外に情報発信した。 また、東日本大震災による被害箇所の復旧状況を情報発信した。

（様式２）

【参考資料】

取　組　名	治山事業の理解と啓発(継続)

○森林ふれあい教室（復旧状況の説明）栗原市耕英地区

○森林ふれあい教室（復旧状況の説明）東松島市大曲地区

（様式２）

平成２５年度　流域管理の取組結果表

No.　５６（当初計画：No.　５７）　　　　　　　　　東北森林管理局

取　組　名		間伐材の有効利用と促進(拡充)
流　域　名		宮城北部流域
分類番号		カー２３
実施箇所及び実施日		石巻地区森林組合　平成 25 年 4 月 23 日(合板用県産材の供給等の検討会)、平成 25 年 7 月 19 日・11 月 22 日（合板用県産材の供給等の調整会議）11 月 22 日(品質向上研修会)
取組の背景及び必要性		我が国の林業は、国有林・民有林を問わず森林資源が充実し間伐の時期を迎えている。今後、間伐材の有効利用と需要の拡大を図るため合板用県産材の供給等の検討会、有利販売するための採材について検討会を開催する。
取組の内容		今年度の合板用県産材の供給等に関する調整会議が 7 月 19 日・11 月 22 日の二回開催された。 また、4 月 23 日に合板用県産材の供給等の検討会、11 月 22 日には、合板用原木品質向上研修会が開催された。 合板工場が集積する石巻港周辺は津波による甚大な被害を受けた。順調に復旧している企業や当初の予定より遅れている企業など、様々な状況にある。このことから、合板用県産材の供給等に関する調整会議により需要・供給見通し等について情報交換した。
	国有林担当部局・役割	宮城北部森林管理署 （協力）
	連携協働相手先・役割	宮城県、活性化センター、合板会社、森林組合、宮城県森林整備事業協同組合 （企画、実行、協力）
取組の結果、反響、今後の課題等		原木供給者・需要者双方のビジネスパートナーとしての信頼関係の構築及び情報共有を図った。
ＰＲの実施状況及びその期待する効果		原木供給者・需要供給者双方が、お互いの業務や現場について理解し合うことにより、ビジネスパートナーとしてより強い信頼関係を構築する。

【参考資料】

取　　組　　名	間伐材の有効利用と促進(拡充)

○供給等の検討会

○合板用原木品質向上研修会

（様式２）

平成２５年度　流域管理の取組結果表

No.　５７（当初計画：No.　５８）　　　　東北森林管理局

取　　組　　名	松くい虫・ナラ枯れの被害拡大の防止（継続）
流　　域　　名	宮城北部流域
分　類　番　号	カー２５
実施箇所及び実施日	宮城県石巻市石巻地区森林組合　平成 25 年 4 月 22 日
取組の背景及び必要性	被害が拡大している、松くい虫及びナラ枯れの早期発見と防除対策を講じ被害拡大の防止に努める。
取組の内容	松くい虫被害は、昭和 51 年に県内石巻市で初めて現認され、現在も被害が拡大し自然景観を損なう状況下にある。 一方､ナラ枯れについては、平成 21 年 9 月に山形県境の大崎市鳴子温泉地区で確認され、関係機関との情報の共有化により早期の防除対策を行ってきたところである。 今年度は松くい虫被害防除協議会を県・地元自治体・森林組合と開催するとともに、平成 24・25 年度の国有林内の松くい虫・ナラ枯れ被害状況を宮城県へ情報提供した。
国有林担当部局・役割	宮城北部森林管理署
連携協働相手先・役割	宮城県、市
取組の結果、反響、今後の課題等	情報の共有化等により早期の防除対策が実施され、被害の拡大防止が図られた。
ＰＲの実施状況及びその期待する効果	ＰＲ：主催者側でなかったことから実施しなかった。

【参考資料】

取　　組　　名	松くい虫・ナラ枯れの被害拡大の防止(継続)

○松くい虫防除作業(薬剤処理)宮城県気仙沼市

○松くい虫防除作業(樹幹注入)宮城県石巻市

（様式２）

平成２５年度　流域管理の取組結果表

No.　５８（当初計画：No.　５９）　　　　　　　　　　　　東北森林管理局

取　組　名		上下流の連携強化のための林業体験活動・フィールドの提供（継続）
流　域　名		宮城北部流域
分類番号		カー３２
実施箇所及び実施日		宮城北部森林管理署　小黒ヶ崎国有林（平成 25 年 6 月 20 日）・本沢岳山国有林（平成 25 年 9 月 19 日）・谷川山国有林（平成 25 年 9 月 3 日）・深山岳国有林（平成 25 年 10 月 5 日）・鹿妻山国有林（平成 25 年 11 月 13 日）
取組の背景及び必要性		次代を担う子供達の森林環境教育、国民参加の森林づくりを通して森林の持つ公益的機能及び国有林野事業のＰＲが重要である。
取組の内容		石巻市立大原小学校３・４年生の児童を対象に植樹体験、鹿の食害を予防する苗木保護ネットの設置、クラフト作り（壁飾り作成）などに取り組んだ。 ボランティアによる植樹としては、仙台市のＮＰＯ「森林との共生を考える会」と共催で国有林の土砂崩壊復旧工事跡地にブナ等の山取木 200 本を植樹した。参加者は 80 名だった。 また、一般の方を対象にした「森林ふれあい教室」を３回開催した。登山や林内散策を通じて自然にふれあえる取組みを行った。
	国有林担当部局・役割	宮城北部森林管理署 （企画、実行、募集、協力、講師、フイールドの提供）
	連携協働相手先・役割	ＮＰＯ法人、小学校 （企画、募集、実行）
取組の結果、反響、今後の課題等		森林教室に当たっては､これまで安全上及び時間的制約から、ここ数年同一箇所で継続開催している。 対象校からの反響としては､教師より本取組に対し理解を得､学校長より「父兄等に広く伝えて行きたい」との感謝と労いの言葉をいただいている。また、植樹については、今後の枯死が憂慮されることから適切な更新及び保育技術の確立に努める。
ＰＲの実施状況及びその期待する効果		ＰＲについては、署ホームページ・市町村広報誌・新聞社への情報提供を行い、ボランティアによる植樹については、新聞に掲載になった。

（様式２）

【参考資料】

取　組　名	上下流の連携強化のための林業体験活動・フィールドの提供（継続）

○石巻市立大原小学校の森林教室

○植樹活動状況

○森林ふれあい教室（植生の説明）

（様式２）

平成２５年度　流域管理の取組結果表

No.　５９（当初計画：No.　６０）　　東北森林管理局

取　組　名		森林と湖に親しむ森林教室(継続)
流　域　名		宮城北部流域
分類番号		カー３１
実施箇所及び実施日		宮城県加美町　漆沢ダム周辺　平成２５年７月２１日 宮城県大崎市　鳴子ダム周辺　平成２５年７月２７日雨天中止
取組の背景及び必要性		国土交通省鳴子ダム管理所、宮城県大崎地方ダム総合事務所がそれぞれ主催する森林と湖に親しむ旬間などの各イベントに参加要請があり対応してきたところである。今後においても、これら各機関からの強い参加要請があり対応する必要がある。
取組の内容		森林の役割、国有林野事業の地域振興への寄与についてＰＲした。 7 月 21 日（日)、宮城県大崎地方ダム総合事務所と共催で漆沢ダム管理所と共催で漆沢ダム周辺において地元町内外から 360 人の家族連れが参加。当署からは、巣箱の製作、丸太切り体験を行い子供たちの木育教育に取り組んだ。
	国有林担当部局・役割	宮城北部森林管理署 （企画、実行）
	連携協働相手先・役割	国土交通省、宮城県、大崎市、加美町 （企画、地域住民への情報発進、実行）
取組の結果、反響、今後の課題等		地域住民に国有林野事業の使命をアピールし、参加者からの感想も良好だった。今後も継続してＰＲしていくため、イベントへの参加、他の公共施設等への展示を検討する。
ＰＲの実施状況及びその期待する効果		各連携機関等のホームページ 広く県民に国有林野事業の使命、森林林業の役割について理解してもらう。

【参考資料】

取　組　名	森林と湖に親しむ森林教室(継続)

○漆沢ダム　巣箱作り

○漆沢ダム　丸太切り

（様式２）

平成２５年度　流域管理の取組結果表

No.　６０（当初計画：No.　６１）　　　　　　　　　　　東北森林管理局

取　　組　　名	森林共同施業団地設定箇所の施業の推進(継続)
流　　域　　名	宮城北部流域
分　類　番　号	ウ－１６
実施箇所及び実施日	宮城県加美町小野田地区　平成 25 年 6 月 12 日
取組の背景及び必要性	地域の森林整備を進めていくためには、地域森林所有者と隣接する国有林が一体となり、路網整備の整備、高性能林業機械を活用した間伐等の施業など、低コストを目指した森林施業を実施していくことが重要である。
取組の内容	平成 25 年 6 月 12 日に、加美町、森林農地整備センター東北北海道整備局、大崎森林組合と低コストの森林施業を着実に推進させるため、土場の共同利用、既設森林作業道の共同利用について現地確認し、業者間がお互いの支障とならないように、連絡をとりながら事業を進めるように意思疎通を図った。
国有林担当部局・役割	計画課・宮城北部森林管理署（企画、実行）
連携協働相手先・役割	森林農地整備センター、町、森林組合、山林所有者、林業業者（企画、募集、協力）
取組の結果、反響、今後の課題等	事業が動き出したら、２回目の現地検討会を実施する予定でしたが、民有林の入札不調により共同での施業は出来ない状況になった。
ＰＲの実施状況及びその期待する効果	共同施業実施には至らなかったが、平成２４年度、２５年度と協定者間の打合せ、検討会を通じて今後の連携のためのパイプが出来た。

（様式２）

【参考資料】

取　組　名	森林共同施業団地設定箇所の施業の推進(継続)

○森林施業の推進のための現地検討会（加美町小野田地区）

（様式２）

平成２５年度　流域管理の取組結果表

No.　６１（一）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　東北森林管理局

取　組　名		林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成（新規）
流　域　名		宮城北部流域
分類番号		オー２０
実施箇所及び実施日		宮城県登米市東和町米川　高城山国有林　平成 25 年 9 月 20 日
取組の背景及び必要性		我が国の林業は、国有林・民有林を問わず森林資源が充実し間伐の時期を迎えている。今後、間伐材の有効利用と需要の拡大を図るため、有利販売するための採材及び森林作業道作設についての検討会を開催する。
取組の内容		画一的な採材（合板）になりつつあること、オペレーター一人の力量に委ねられる採材について、素材を商品として意識してもらうために行った。 森林作業道作設指針等の再確認と各事業体のオペレーターによるデモンストレーションを実施した。
	国有林担当部局・役割	宮城北部森林管理署 （企画、実行）
	連携協働相手先・役割	森林組合、林業業者、林業活性化センター
取組の結果、反響、今後の課題等		情報（採材）の共有化等により商品としての意識付けが図られ、オペレーターのレベルアップにもつながった。
ＰＲの実施状況及びその期待する効果		参加者のスキルアップが期待される。

（様式２）

【参考資料】

取　組　名	林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成（新規）

○森林作業道検討会

○採材検討会